

事業番号	10 04 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	治山事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課				
		実施期間	S29 ~	E-mail	shinrin@pref.nagano.lg.jp				
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係									
重点目標									
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化								

1 現状と課題

近年、災害が激甚化、多様化、同時多発化しており、それら災害に対応する必要がある。
 森林資源の増加に伴い流木災害が発生しており、流木災害に対応する必要がある。
 治山施設が老朽化が確認されており、経年劣化した治山施設の長寿命化を図る必要がある。

2 事業目的

山地災害を防止し、被害を最小限にとどめ、安全で安心できるくらしの実現を図る。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①山地災害、地すべりからの復旧のため、山地治山総合対策を実施
- ・山地災害、地すべりからの復旧のため、山地治山総合対策を実施
 - ・山地災害の発生の恐れのある箇所への治山事業の実施
 - ・災害発生時に被害拡大を防止するため応急工事を実施
- ②荒廃森林の整備や危険木除去の実施
- ・水源地域にある過密化し表土流出した森林の密度調整を行うため、森林整備を実施
 - ・流木の恐れのある溪流沿いの倒木や支障木を除去
- ③治山施設の長寿命化の促進
- ・被災し破損した治山施設の修繕を行い、機能回復を図る
 - ・目詰まりしたボーリング孔を洗浄し機能回復を図る

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	治山事業により保全される集落数	箇所	53	45	↘	36	↘	40	未達成	総合5か年計画の目標（治山事業により新たに保全される集落数 200集落（H30～R4））を達成するために必要な実施箇所数。	

5 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	4,931,338	3,851,100	1,310,757	10,093,195	402,081	6,122,141	62.0
R3年度	7,099,329	3,680,855	1,851,148	12,631,332	474,067	7,676,533	56.0
R2年度	3,900,712	4,550,439	4,378,633	12,829,784	594,788	5,730,453	56.0

事業番号	10 04 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	治山事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課		

6 主な取組実績と成果

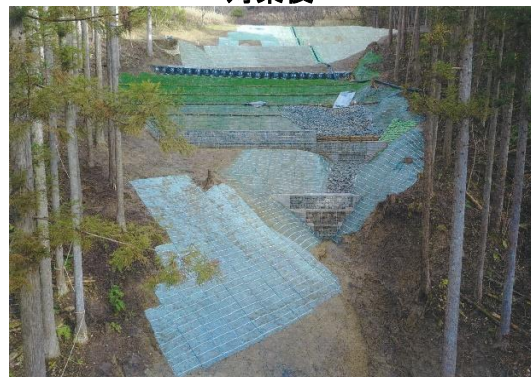
①R2年度豪雨災害、R3年度豪雨災害からの復旧

県内全域で大きな被害をもたらしたR2年度7月豪雨災害、R3年度7月・8月・9月豪雨災害で被災した地域について緊急的な整備を進め、県内各地における被災地域の応急工事が完了した。

対策前



対策後



7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	治山事業により保全される集落数	R3年度推移	↘	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
-----	-----------------	--------	---	--------	---	------	-----

道路等のインフラ施設の保全を目的とした災害復旧に関する事業箇所が増加したため、集落保全を目的とした事業箇所数が減少し、目標値を達成できなかった。ただし、5か年での累積では目標200箇所に対し、実施235箇所であり、達成することができた。

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題
<p>山地災害危険地区等の保全対象となっている3,600集落のうち、既に対策工等がなされ、概成又は一部概成している集落数は、R4末で2,210集落（整備率：61%）であり、引き続き整備を進める必要がある。</p> <p>災害復旧に関する公共治山事業数は16箇所（R2年度）、23箇所（R3年度）、26箇所（R4年度）と増加傾向にある。他方、成果指標の保全される集落数の実施箇所数は53箇所（R2年度）、45箇所（R3年度）、36箇所（R4年度）と減少傾向にある。災害対応が優先されるため、成果指標の達成は年度の気象状況等に左右されてしまうことが課題である。</p>
(2) 翌年度以降の事業改善の方策
<p>治山事業により保全される集落数については、過去5年間の達成状況等により目標値の妥当性を確認し、より適切な達成計画を検討する。</p> <p>未着手の山地災害危険地区箇所や新たに山地災害危険地区の指定が必要な溪流等を抽出し、優先的に事業を行い、山地災害の発生を未然に防止する。</p>

事業番号	10 04 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	治山事業		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	公共治山		5,177,974 千円	7,039,675 千円	5,514,932 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	山地治山総合対策事業	直接	山腹崩壊や荒廃渓流、地すべり等の復旧対策や森林整備の実施により、荒廃森林の機能回復を図った 52箇所の事業実施		
2	水源地域等保安林整備事業	直接	水源地域の荒廃森林において、森林の整備と荒廃地の復旧整備を行い、水資源の確保と県土の保全を図った 15箇所の事業実施		
3	農山漁村地域整備治山事業	直接	荒廃森林、荒廃危険地等の山地を復旧整備することにより、水土保持機能の高度発揮を図った 29箇所の事業実施		
4	災害関連緊急治山事業	直接	再度災害を防止するため、新たに発生した山地災害、なだれ、地すべりの発生源において、当該発生年に緊急に復旧整備を図った 26箇所の事業実施		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	県単治山		552,479 千円	600,863 千円	571,417 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	林地荒廃（災害復旧）	直接	公共事業と目的を同じくする小規模な治山工事で荒廃地の復旧、応急対策を実施 47箇所の事業実施		
2	治山施設リフレッシュ事業	直接	公共事業と目的を同じくする小規模な治山工事で施設修繕等を実施 3箇所の事業実施		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	県単治山（森林づくり県民税活用事業）		0 千円	35,995 千円	35,792 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	防災・減災対策緊急治山事業	直接	家屋、生活道路やライフラインに影響がある災害が発生した場合、応急工事や緊急調査を実施する。防災・減災の観点において二次災害を防止するため緊急に森林整備を実施 18箇所の事業実施		
2	地すべり防止施設管理サポート事業	直接	地すべりの再発を未然に防止するため、地すべり防止施設を適切に管理 9箇所の事業実施		